

地元の小中学校にバスケットボールを寄贈

奥野製薬工業

奥野製薬工業は、同社の工場が位置する大阪市鶴見区の小中学校17校に対し、バスケットボール合計44球を寄贈した。大阪市立今津中学校で行われた贈呈式には奥野直希社長が出席し、代表の生徒にボールを手渡しした。

今回の取り組みは、同社が2025年からオフィシャルプレミアムパートナーとなったプロバスケットボールチーム・大阪エヴェッサの青年育成プロジェクトの一環として行われた。同社と大阪エヴェッサのロゴが印字された特別仕様のバスケットボールを寄贈した。

贈呈式において奥野社長は「地域の皆さまに支えられてきた企業として、子どもたちがスポーツを通じて仲間と協力し、心身ともに成長していく一助となれば幸いです。奥野製薬工業は、これからも地域とのつながりを

大切にし、社会に貢献できる活動を継続してまいります」と述べた。奥野社長は昨年6代目の社長に就任した。小学校教諭の経験を持つことから、人の力を軸にした経営に力を注いでいる。



大阪市立今津中学校での贈呈式の様子